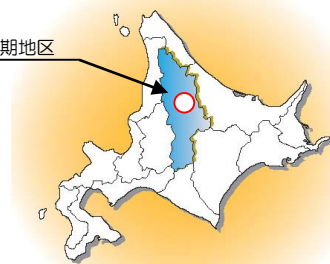


国営かんがい排水事業

きょうえいちかぶみにき

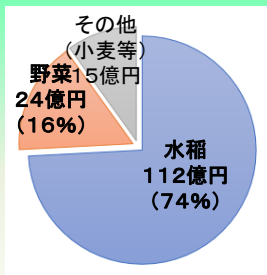
共栄近文二期地区

共栄近文二期地区



地域の概況

本地域は道内有数の水田地帯であり、水稻を中心に水田の畑利用による小麦、そば、トマト、きゅうり等を組み合わせた農業経営を展開しています。



資料：平成29年市町村別農業産出額（旭川市・鷹栖町）



100%鷹栖町産のブランド米なつぼし。

「なつぼし」「ゆめぴりか」の作付けが地域の水田面積の7割以上（令和5年度時点）



※鷹栖町HPより引用

鷹栖町特産のトマトジュース「オオカミの桃」

地区の現状と課題

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営共栄近文土地改良事業（昭和49年度～平成10年度）等により整備されたが、事業完了以降、営農状況の変化に伴い水需要が変化しているとともに、複数の取水施設を利用した水利用形態のため用水管理に苦慮している。また、用水施設は経年劣化等により維持管理に多大な費用と労力を要している。さらに、近文頭首工は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震により損壊した場合、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。



用水路の劣化（凍害）



頭首工護床のめくれ・流亡



用水路の劣化（側壁傾倒）



頭首工堰柱の耐震性能不足

■水稻、トマト、きゅうりのかんがい期間

区分	4月			5月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
水稻	現況		播種	← 取水期間 5/1 ~		移植
	計画		播種	← 計画の取水期間 4/26 ~		移植
トマト きゅうり	現況			← 取水期間 5/1 ~		定植
	計画			← 計画の取水期間 4/26 ~		定植

- 「米」高品質・安定生産を維持し「売れる米づくり」
- 「野菜」農家の所得向上のためトマト、きゅうりの作付増を推進
このため、地域の農業振興計画に基づく米、野菜生産に対応した用水計画の見直し
- 「米」営農状況にあわせ苗代期間の前倒し【5/1⇒4/26】
- 「トマト、きゅうり」栽培拡大のため用水供給期間の前倒し【5/1⇒4/26】

事業目的

本事業では地域で作付されている作物に適したかんがい期間への変更や用水管理の合理化に対応した用水再編を行うとともに、頭首工の耐震化対策や用水路の更新等を一体的に行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減並びに大規模地震に伴う被害の防止及び軽減を図ります。

事業計画概要

受益面積：5,582ha（田5,582ha）

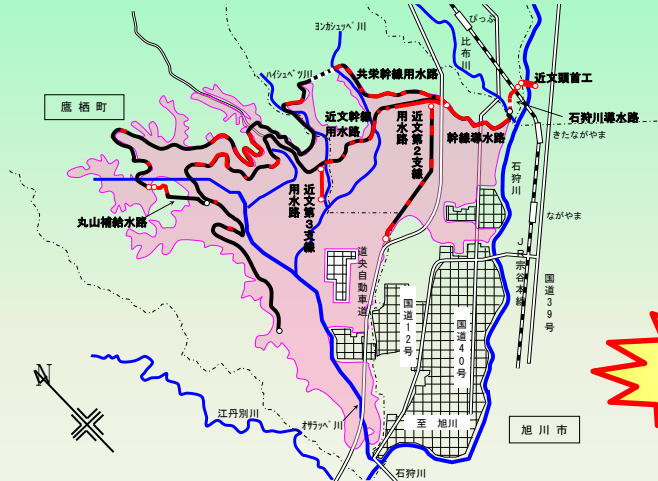
関係市町：旭川市、上川郡鷹栖町

事業工期：令和3年度～

主要工事計画：頭首工（改修）1箇所

用水路（改修）6条 L=20.6km

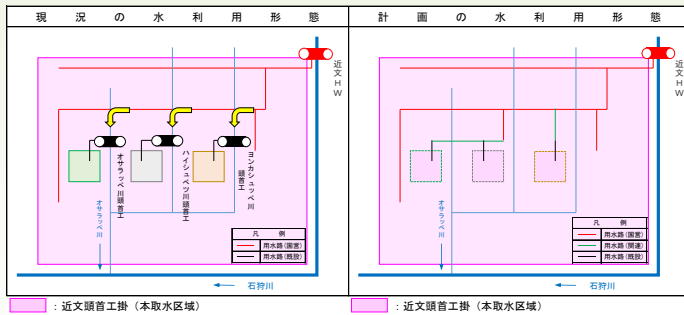
（新設）1条 L=0.6km



【耐震対策】近文頭首工の耐震性能不足による影響



【用水再編】溪流頭首工(3カ所)を廃止し、近文頭首工からの直接配水



廃止する溪流頭首工は造成後50年以上が経過しコンクリートの凍害・ひび割れ及び鉄筋露出が発生

地域振興の取組



地元農業者を中心に「鷹栖町ブランド推進協議会」を設立し、農産物のブランド力の向上や、産官学で連携して農産物の販路拡大等に向けた取組を実施。



地元新規就農者による持続可能な農業経営と営農レベル向上を目的とした研究組織「NAT」を設立し、鷹栖町の営農技術向上に向けた研究のほか、ブレンド米の生産・販売等を実施。



ブレンド米の生産 (Production of blended rice).



地区受益者により6次産業化に向けた合同会社を設立。自ら生産した農作物をベースにキッチンカーやカフェでの飲食物販売を実施。